

平成30年度 前期学校評価アンケート結果まとめ

質問	項目	教職員	児童		保護者
			あり	相談	
1	教育相談は有効に行われている。（児童：困ったことがある→相談する）	84.8%	17.7%	52.5%	89.1%
2	友達や異学年の子どもとの交流を通し、相手を思いやる気持ちを育てるような集会や行事が計画されている。	84.8%	94.1%		94.5%
3	保護者や地域ボランティアと協力して登下校時の子どもの安全に努め、通学分団指導は適切に行われている。	90.9%	91.7%		96.9%
4	子どもが安全で健康な生活ができるような指導がなされている。	90.9%	95.4%		95.3%

<教職員>

- ① 教育相談の時間の確保が難しい。教育相談期間だけでなく、普段から行っていくよう心掛けたい。
- ② 朝会での校長先生の話が、いつも「人を大切にする気持ち」が伝わるので、子どもたちにも伝わっていると思う。
- ② ペア集会など、関わりをもてる会がやや少なかった気がした。
- ③ 分団指導は、問題が発生した時点で適切に指導できている。
- ④ 世間で起きた災害や事故が本校で起こらないようすぐに対応していると思う。
- ④ 廊下を走る児童を見かける。その都度注意はしているが、さらなる全職員での呼び掛けが必要である。

<保護者>

- ① 学校で子どもを対象としたアンケートを実施していると聞き、学校やお友達、家庭などのトラブルを事前に把握して子どもたちが楽しく安全に学校生活を送れるようにしており素晴らしいと思いました。今後も続けて欲しいです。（1年）
- ③ 下校時、途中まで見に行っていますが、あまり他のお母さんには会いません。たまにでも行くと子どもの様子も分かり安全面でも良いと思います。（3年、1年）
- ③ 帰宅中の子どもたちの中に、道路に飛び出す子、車道を歩いている子を見ます。全部監視することは難しいとは思いますが、1年生だけの集団は危ないと感じました。（1年）

- ③ 南門を利用して登下校しています。ボランティアの方がいつもよくしてくださって助かっていますが、負担が大きいように思います。ご高齢ということもあり、他に協力していただける方はいないのでしょうか。(3年、1年)
- ③ 登下校の際、ボランティアの見守りに感謝しています。毎日のことであり、協力できていない立場からは、ただただ頭の下がる思いです。(1年4年)
- ③ 昨年3学期、下校時に不審者に写真を撮られたことを子どもを通じて知りました。その後、学校からは特に報告はなく、出来事を知らない保護者もいました。情報共有する意味で不審者情報を発信していただきたいです(2年)
- ③ 最近子どもをねらった犯罪も多く、また大地震が近いうちに起こるとも言われ、防犯対策や耐震対策などにより力を入れていただくと助かります。(2年)
- ③ 最近物騒な事件が多いです。下校時に子どもを見守る大人を通学路に一定距離毎に配置するなど何か方法はないのでしょうか(2年)
- ③ 登下校中の安全について、地域ボランティアの方々との交流があれば、情報交換などもできるかなと思います。(2年)
- ③ 米塚北の交差点が心配です。工事車両の出入りも多く、登下校時に見てくれる人がいたらと思います。(5年、3年)
- ④ ランドセルの横に付けている歯みがきセットの巾着袋がガードレールにひっかかってこけそうになった姿を三叉路当番の時に見掛け、ひもが長いと危ないなと思った。(5年)
- ④ 通学路や階段で人を押しのけて先に行こうとする姿を見掛けました。転倒、転落など事故につながる危険な行為だと気付いていないのが心配です。(4年)
- ④ 担任の先生が子どものしつけに相当エネルギーを割かれているように感じます。親のせい、親の余裕がないなど色々ありますが、学校とPTAが連絡をとりあって対処するしかないように思います。学校はよくやってくれていると思います(2年)

通学路の混雑や、交通安全・マナーなど、登下校についてが最も大きな課題だと感じました。学校では分団会議を定期的に行き全体指導をしていますが、班によっては学期中に様々トラブルが生じているので、その都度個別に指導しています。交通安全・マナーについても全校での朝会や各学級の朝の会などで話をしています。自分の身は自分で守ることを前提に、災害時の対応や防犯教育も行っていますが、折に触れ、ご家庭でも話題にしていただき、学校と家庭が協力して、子どもたちの安全・

安心への意識が高まるよう取り組んでいきたいと思ひます。しかし、地域の開発と戸建て・集合住宅の増加に伴い児童数が増えたことで、見守るべき範囲が広がり、現在の地域のボランティアの方々やPTAのみなさんによる見守りの体制では多くの方がご心配であることをアンケート結果から感じました。ただし、教職員でできることは現状以上のことはありません。朝の交通当番を三叉路以外に増やしたり、下校時にも見守りボランティアを募るなど、どのような体制をPTAとしてとるのか、検討していく必要も感じています。新たな提案があった場合には、学区の子どもたちのためご協力願えたらと思ひます。

5	自分の持ち物や、みんなで使うものを大切にしようとする指導がなされている。	75.8%	97.6%	87.7%
6	清掃活動や花の栽培を通して校内の環境をきれいにしようとする指導がなされている。	78.8%	96.9%	90.2%

<教職員>

- ⑤ 自分のものでも、人のものでも、物に対しては大切にできていないことがある。まずは、自分の身の回りの整理整頓を声掛けしている。
- ⑤ 使った物がそのままになっていることがある(スコップやかま)。指導する側の意識を高めたい。清掃は一生懸命やっているのに道具の片付けができていない(トイレのスリッパ、じょうろ、ぞうきん、ミニほうき)。きちんとさせたい。
- ⑤ 児童数・学級数増加でゆとりがなく困難な状況であるが、物を大切にする上で、物を管理する場所が必要。
- ⑥ 特別教室の清掃があいまいになっている。清掃の手順を示したい。また、資源の分別や、リサイクル用紙に入れる紙の大きさの指導を徹底したい。

<保護者>

- ⑥ トイレが汚れているから学校で行くことをためらうことがあるようです。上靴で利用しそのまま校舎を歩くことを知り状況によっては心配です。(2年)

子どもは一生懸命清掃活動等に取り組んでいます。しかし、それぞれの役割を果たすという意識で留まっている子どもも多いです。物を大切に、環境を整えるためには、個々の果たす役割に加えてどのようなことに気を配ったり心掛けたりすればよいかということまで考えられる子どももいます。そのような取り組みを称揚し、多くの子に広げていくとともに、多くの方が学校全体で過ごしているという視点ももてるよう、片付けや清掃などの機会にポイントを示していきたいと思ひます。

7	学習内容がよく分かるように指導を工夫している。	87.9%	94.2%	93.2%
8	学級の係活動やクラブ活動、運動会などの行事に、楽しく取り組めるよう指導を工夫している。	90.9%	97.7%	97.1%
9	読書活動を通して豊かな心をもった子どもを育てようと努めている。	87.9%	94.7%	87.5%
<p><教職員></p> <p>⑦ 児童の体験したことを導入に扱い、興味を引きつけるよう工夫している。</p> <p>⑨ 児童数増加に伴い、本が足りない。増やして欲しい。</p> <p><保護者></p> <p>⑨ 毎週読書の本を借りてくるのですが、学年に見合わない難しい本を借りてくることが多い。子どもに助言をいただける方がいると、もっと本を好きになれると思います。(1年)</p> <p>⑨ 借りてくる本がいつもなぞなぞだったり、字のない本だったりします。本を読む楽しさがわかるような機会があると良いと思う。</p> <p>⑨ 読書が好きなので、週に1冊ではなく、複数冊借りられたら喜ぶと思います。(2年)</p> <p>⑨ 本の借り換えをする時間が足りないと行っています。雨の日などに積極的な利用の声掛けがいただけるとうれしいです。(2年)</p>				
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>図書室の蔵書を増やすことの必要性は感じています。予算の範囲内で最大限、子どもの読書の機会がもてるよう整えていきたいと思います。本を読む楽しさを感じられるよう、2学期には学年毎の読み聞かせ会を行ったり、ペアで読書会を行い子ども同士で本を読み合う活動を予定したりしています。ご家庭でも読書意欲が自然と高まるよう、お子さんと一緒に書店や図書館に出掛けたり、団欒の話題に最近読んだ本を取り入れたり、おすすめの本をお子さんの目に触れやすいところに置くなど工夫をしていただけると良いかと思っています。</p> </div>				
10	仲間との対話を大切にしたり、自ら考え判断し、表現するような教科指導をしている。	87.9%	87.7%	—
11	児童が主体的に学習に取り組めるように授業を工夫している。	87.9%	—	—
12	学校は、「学校だより」「学年だより」などを通して、教育方針や活動の様子を適切に保護者へ知らせている。	87.9%	—	98.6%
13	学校は、授業や学校の生活の様子を参観する機会を適切に設けている。	93.9%	—	96.9%

< 教職員 >

- ⑩ 授業や単元のどこで対話的な活動を取り入れると効果的か、さらに考えていきたい。
- ⑪ 主体性を育てるためには、まず自信を付けさせなければならないと考える。「書くこと」ができるようになってきたので、考えを出したりまとめたりすることに「書くこと」が生かせれば、自分の考えをもちやすくなるのではと考えている。
- ⑩⑪ 授業を互いに参観する機会が多くあり、どの先生も「楽しく分かる授業」に熱心に取り組んでいて勉強になる。また、他学年の先生方も互いに参観し合っているところは素晴らしいと思う。

< 保護者 >

- ⑫ 特別な行事予定や持ち物などのお知らせが、学校日より、学年日より、宿題のプリントなど色々なところにばらばらに載っており、時には内容や日時が異なることがあって混乱することが何度もありました。1つの事柄について1回のお便りを見れば済む様な工夫をしてもらえると良いと感じました。(1年)
- ⑫ 先生が一生懸命指導しているのは伝わっているが、一度の参観の様子では判断できない。お便りも全体的な様子ばかりでクラスの様子は伝わりにくいのが残念に感じます。(1年)
- ⑬ 参観日が少なくなった気がします。もう少し参観できる日があっても良いのではないかと思います(6年、1年)
- ⑬ 懇談会、参観、行事などで学校の様子が見られる機会があるのはうれしく感じる一方、毎月のように機会があるのは、親も先生方も多忙に感じます。(2年)
- ⑬ 授業参観や行事だけでなくボランティア活動で学校に関われることがあると良いなあと思います。(3年)

学校に足を運ぶ機会の多少は個々によって異なりますが、行事、参観日、懇談会の日程は、これまで多くの意見をいただきながら模索してきた結果で、95%以上の方から良いとの評価をいただいています。今後も会の内容や教育効果などを考えて実施していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。